

JR東日本労働組合 もりおか

東日本ユニオン
盛岡地方本部
発行責任者 鈴木 雅裕
2022年9月2日 No.24

第10回定期大会を開催

盛岡地本は8月30日、平泉町「舞鶴荘」にて「第10回定期大会」を全組合員参加のもとで開催しました。全国的に広がる新型コロナウイルス感染「第7波」の中、基本的な感染対策とあわせて、東日本ユニオン「新型コロナウイルスに対するガイドライン(10)」の徹底をはかり開催しました。

組織拡大の実現をめざし 団結力を発揮して奮闘することを確認！



地本執行部を代表してあいさつに立った鈴木執行委員長は「2022春闘では『要求の実現』と『組織拡大の実現』を取り組みの柱に運動をつくりだしてきた。2021春闘の『昇給係数2』は退職金に至るまで影響を及ぼす！JR労働者の課題として、組織強化・拡大を通じて克服していきたい」「中央本部提起のもと、地本組織のあり方の議論を1年間進めてきた。結成してから今日まで組合員と頑張ってきたが、今後は東北地本結成の流れとなる。無念さもあるが、組織拡大の実現にむけて団結を継続していこう！」と、組合員のさらなる奮起を呼びかけました。

八木議長の采配のもとで進められた質疑では「統括センター・営業統括センター発足」に伴う意見が多く出されました。組合員からは「営業統括センター化により複数の駅に勤務する中、社員は2重、3重に仕事に必要な物を自ら揃えることになる。そのことを会社は分かっているのか！」「北国であることから、冬期の通勤時には制服以外にコートや長靴など持ち運ぶ物が多くなり、社員自身の工夫も必要になるのではないか」「現場では『やれる人だけの施策ではないか』という声が出ている」など、働く環境が十分に整備されないまま、施策が実施されている実態が出されました。

大会ではすべての議案を満場一致で採択し、最後まで奮闘することを確認しました。

今大会に参加された組合員のみなさん！
ありがとうございました。引き続き、頑張りましょう！



※撮影時のみ、会話せずマスクを外して撮りました

盛岡地本は東日本ユニオンの仲間たちと共に団結して闘うぞ！